

# 『中東情勢の事業影響に関する緊急アンケート』

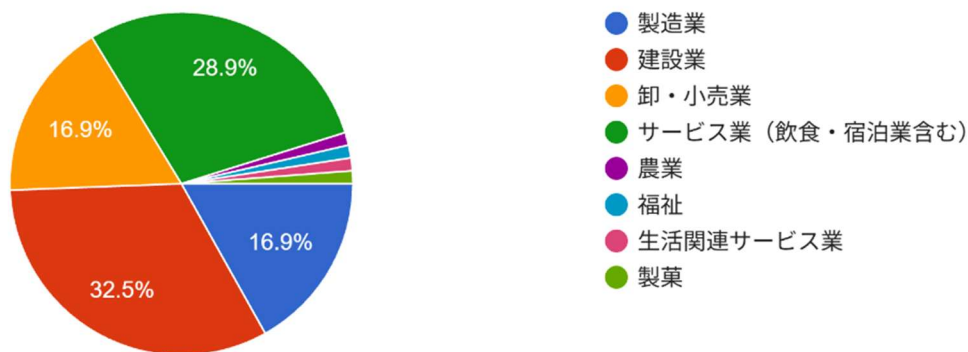
韮崎市商工会

## 1. 調査概要

中東情勢の緊迫化に伴う原油価格高騰や物流停滞等が地域事業者へ与える影響を把握するため、会員事業所を対象に緊急アンケートを実施した。調査では、燃料・原材料・包装資材等の供給状況や価格動向、受注状況、今後の懸念事項等について意見を収集した。

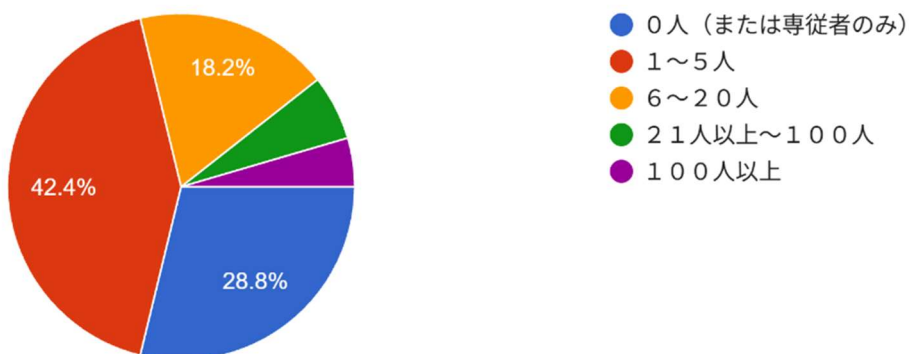
### Q1. 事業所の概要をご記入ください (1. 業種)

83件の回答



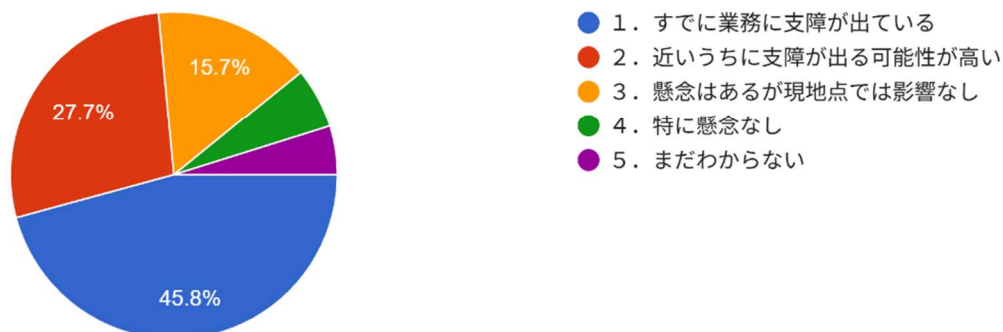
### (2. 従業員数)

66件の回答



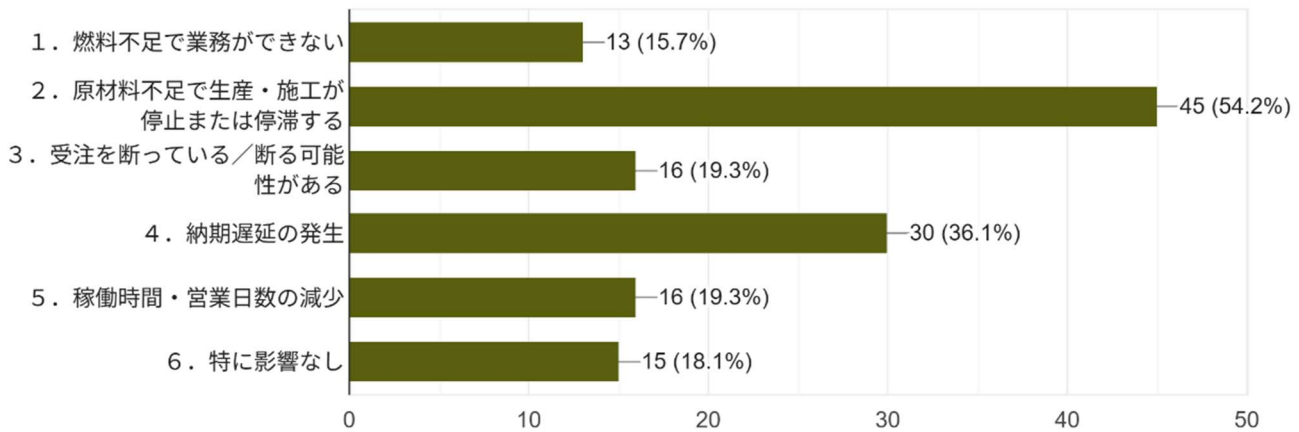
### Q2. 現在または今後の業務継続への影響について

83件の回答



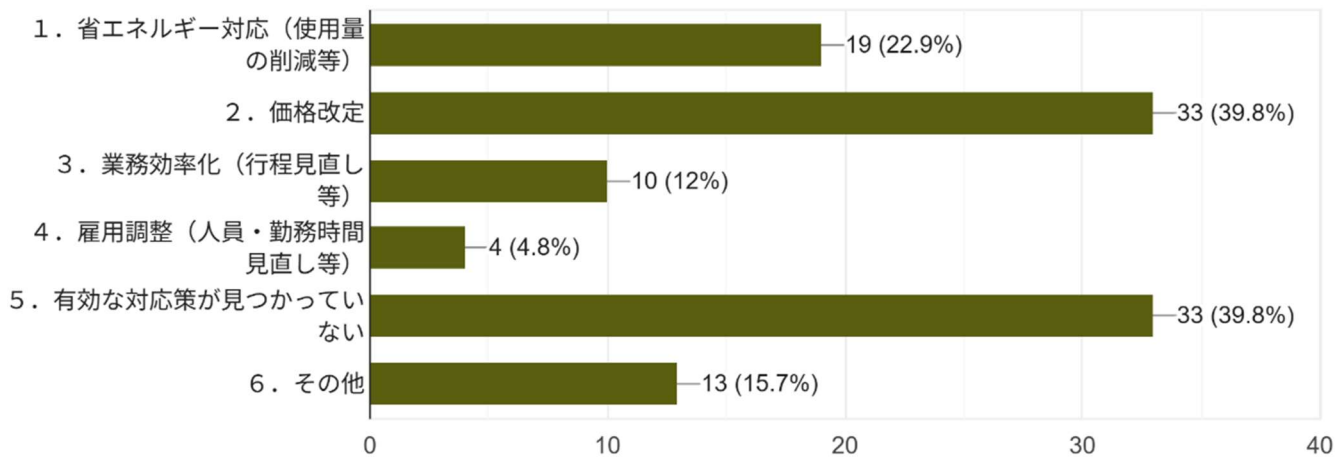
### Q3. 想定される（または発生している）具体的な影響はありますか（複数選択可）

83件の回答



### Q4. 影響に対する対応策は？（複数選択可）

83件の回答



#### 6. その他

- ・ パンの袋詰めを最小限にする
- ・ 有給休暇の取得推進
- ・ 販路開拓
- ・ 検討中
- ・ 受注量は多いのに部材・副資材等の入荷が困難になりそう
- ・ 同等品などの代替商品で対応。なるべく値上げをしないで行けるように対策をとる

## Q5. 自由意見

現場の声、現在の状況等（具体的な事例（受注停止・納期遅延・仕入困難等）・要望・課題）

### <製造業>

- ・部材の遅延による製造工程への影響あり
- ・人手不足が問題です
- ・包装資材や燃料が入荷出来ない状況。
- ・アルミ製品の納品が滞っている（仕上げ前の薬品不足）ため一部の業務に支障が出ている。
- ・包装資材の業者から、価格改定のアイテムが日に日に増えており、5月1日からなどのお願いもあり、困惑しております。
- ・今後、停電・燃料不足によって、原材料（セメント・骨材）等の入荷不足で生産が停止する懸念があります。
- ・製品の受注先から中東情勢の影響により電線や石油関連製品が入手困難になって来ているとの連絡が各社より来ています。
- ・海外からの輸入原材料に不安あり。代替品が無く、入手困難になるのが非常に困る。
- ・代替品にて対応中、手間は2倍ほど
- ・原材料の場合は、購入ルート工夫、変更
- ・加工用機械の潤滑油が入らないため、このままでは10月ころには仕事がなくなる。

### <建設業>

- ・工期の半年間を考えると金額の提示が困難である
- ・5月以降は全ての業務が停止する可能性あり。現在も新規受注は断る物件もある。
- ・資材調達の発注数に制限が出始めているので、通常よりも在庫をかかえる対策をしています
- ・材料の単価が上がって、利益の影響が出はじめています。
- ・今後の工程、追加金額などを契約時に説明して契約している
- ・材料の仕入れ数量制限
- ・仕入困難
- ・床用の接着剤が買い占められて、床工事に支障が出ております。
- ・早く解決して欲しい
- ・中東情勢の緊迫化に伴い、インフラを支える特殊素材の調達に遅れが生じています。直接的な影響として レールの絶縁部品やバネ類など、特有の資材の入荷が不安定になっています。また、今後はメンテナンスに使用する薬剤などの不足も懸念されています。対応として工事計画を柔軟に変更しています。具体的には、材料が届かない工事は実施時期を遅らせ、代わりに手持ちの材料で進められる別の作業を前倒しで実施することで、全体の作業量が変わらないよう調整しています。輸入に頼る特殊な資材が多い業界にとっては、安全維持のためのスケジュール管理に大きな影響を及ぼしています。
- ・セキスイハイムの家の建築が99%なので部材はセキスイ化学からからの調達なので、現在はそれほど影響を感じてないが、水道会社の部品が足りなくなってきたと聞いています。いずれ全体的に支障が出ると思うので不安。
- ・最近納期遅延が発生している。ホームセンターでは数量規制がありまとまった仕事の際は材料を揃えにくい。ホームセンターでは使う材料の値段がものすごく上がりました。
- ・アスファルト等がどんどん値上がりしていて、以前のようなコストでの施工は無理。

- ・石油製品（塩ビ類）の材料が遅延している。新しい現場が見送りになった。
- ・価格が高い
- ・一部の商品で入ってくる日がわからないものがある。中東情勢が長引くと価格も上がり、仕事もできなくなって困ります。
- ・塗料の入荷の見込みが立たず、仕事を受けられない。塗料は30%、シンナーは75%の仕入れコストアップの見込み。供給は大手優先になるのではと心配している。
- ・仕入れの困難な製品があります。
- ・資材の値上げ、納期未確定など今後の業務に支障が出てくる。

### <卸・小売業>

- ・ニトリル手袋やパンの袋が受注困難、制限がある。今後価格も上がるとの通知あり
- ・ガソリン代が高いことだけが悩ましいです。
- ・灯油の関係上仕入れが今まで3～4日が15日以上かかっております。
- ・メディアで発信されると即座に商品がなくなる。しかしメーカーは商品がなくならないように考えながら生産、出荷をしているのでメディアの意見だけで動かないでほしい。買いだめが起こるから商品がなくなるので落ち着いてほしい。
- ・中古車、中古車部品を輸出していて、船が足止めされている。さらに、海外の特定地域のお客様が激減しているため、外国送金されず、弊社の資金不足となっている。他国の顧客を探していますが、仕入れの中古車の値上がり、輸出の船代値上がり等厳しい状況です。
- ・塗装用シンナーと洗浄用が不足している。
- ・当社の場合は卸・小売業なので、材料不足の為仕事が出来ないという事はありませんが、配達用のガソリン、包装用品等の価格の値上がりは有ります。
- ・仕入れ先から原料不足等の理由で、品物が全く入ってこない物がある。ガソリン等の値上げ、仕入れ価格の値上げ等でこの先不安です。

### <サービス業>

- ・化粧品メーカーさんから商品値上げが始まっております為、販売量が減る可能性がある。
- ・影響が出る業界からの仕事発注が減るかもしれない。
- ・石油製品の値上げや受注調整がある。資材に影響がでている
- ・在庫があるものは、早めに仕入れをしている。（メーカーも推奨している）
- ・入れの値段（食材、アメニティーなど）が上がっている。修理の時の金額が上がっている（部品代の値上がり）
- ・仕入れ困難、買い占め等による影響などもあり高騰も
- ・業務依頼主様の会社が材料の供給不十分と言う事をいって、休業になってしまうと自分の事業も休業になってしまう、また材料の出荷がストップしてしまうと業務を断ることになる。いずれも売り上げが上がられなくなる心配があるのが現状。
- ・電気、ガソリン価格の高騰が懸念される。
- ・政府に危機感があまりにもなさすぎる このままでは大変な事になる
- ・燃料高騰により、外出が控えられる事により、来山梨する方が減少する懸念がありますが、まずは年末まで経過し結果を見ないとこの状況の結果は当方としては見えて来ないかと思えます。

- ・クリーニング業界ですがドライの液 資材など仕入れ先にもなく価格も時価になる予定なのでなくなればば営業できなくなる
- ・プラ包材製品の新規取引が不可になり、新カテゴリー商品に影響
- ・宿泊業ですが、山梨はマイカー来訪が多いエリアのためか、ガソリン代や物価上昇を懸念し、宿泊を伴う観光や旅行に関する費用を節約しているようです。GW も実質 5 月 3-5 日がピークで予約数も例年より減少しています。
- ・仕入れ価格の上昇 手袋、サランラップ等の品不足
- ・今のところ現状維持。シャンプー等の価格上昇もあり、来年には価格を統一して行く予定。（今は昔からのお客様には特別価格でしている）
- ・個人の植木屋なので仕事ができなくなる事はないと思います。物価は明らかに上がっており、支払いは増している。
- ・工業用オイル類、部品関係の価格高騰、入荷遅延により定期点検や修理が出来ない状況になりつつあります。
- ・施設の工事を考えていたが、施工業者の方で材料の仕入れができず、価格も改定されるそうで、施工業者も見積もりすら出せずにいる状況。
- ・仕入れ価格の値上げがすでに何度かあり、価格改定も必要だと思うが、それにより来客数の減少への不安もある。だが現状維持では、いずれ経営もきびしくなる。
- ・燃料高騰、仕入れ高騰、価格改定（6月から）
- ・自動車整備業 油脂関係が仕入れ困難なため支障が出ている。
- ・バイトがなかなか見つからず、客数を減らしたりしている。山小屋で使う燃料など高くなる前に買っている。

### <その他の産業>

- ・現在、米袋（ポリ）の入荷制限がかかっている。そのためクラフト袋の購入制限もかかっている。また秋の乾燥機やコンバインの燃料（灯油、軽油）が心配。【農業】
- ・福祉業の為、直接的な打撃はないものの、医療用手袋の不足や高騰、ガソリン代高騰により事業者が負担しなければならない額が増える見込みである【福祉】

## 2. アンケートの分析内容

### (1) 全体傾向

今回の調査では、ほぼ全業種において、以下の課題が広がっていることが確認された。

特に今回は、単なる「物価高騰」ではなく、「資材が入らない」「価格が読めない」「供給停止で業務継続が困難になる」といった、“地域サプライチェーン全体への不安”が特徴的であり、利用者へのサービス継続を優先するため、価格転嫁が難しく、事業者側負担増への懸念が強いことが特徴である。

#### ①燃料・石油関連製品価格の高騰・原材料価格の上昇

ガソリン・軽油・灯油価格上昇への懸念が全業種に広がっており、特に運送・建設・農業・宿泊業など燃料依存度の高い業種への影響が大きい。

また、燃料高騰により起こり得る二次的な影響（外出控え、観光需要減退、消費マインド低下）を不安視する点も確認された。

#### ②包装資材・工業部材等の石油関連製品供給不安

石油由来製品（包装資材・手袋・接着剤・工業用オイル・電線・アルミ関連製品等）を中心に、入荷制限や納期遅延、価格高騰が発生している。

また、一部では、新規取引停止、発注数量制限 代替品対応など影響が深刻なものとなっている

#### ③先行き不透明感の高まり（納期遅延・数量制限）

特に建設業・製造業を中心に「半年先の価格が読めない」「工期中の価格変動リスク」「材料不足による生産停止」など、強い不安が広がっており、既に新規受注調整を行う事業者も見られた。

#### ④消費・受注減少への懸念と防衛的経営行動の拡大

各事業者では、在庫の前倒し確保、購入ルート変更、代替品利用、価格改定準備等の防衛的対応が広がっている。一方で、買い占めや情報不安による混乱を懸念する声も見られた。

### (3) クロス集計から見える特徴

#### ① 「すでに支障が出ている」層

この層での集中している項目は以下のとおりであり、すでに実害段階へ移行している。

・ 原材料不足 ・ 納期遅延 ・ 受注停止 ・ 受注制限 ・ 稼働時間減少

※進められている対応策としては、・ 価格改定 ・ 省エネ対応 ・ 在庫確保であるが、一方で、「有効な対応策が見つからない」との回答も多く、対応限界感が見られる。

#### ② 「近いうちに影響が出る可能性が高い」層

現時点では事業継続できているものの、警戒感が非常に強い。

・ 原材料不足 ・ 資材確保不安 ・ 納期未定 など

※特に製造業・建設業で危機感が高く、防衛的な在庫確保や代替品検討が進んでいる。

#### ③ 「懸念はあるが現時点では影響なし」層

現時点での直接影響は限定的であるが、懸念は広がっている。

・ 燃料高騰 ・ 今後の供給不安 ・ 価格上昇 など

※また、この層でも「有効な対応策が見つからない」とする回答が多く、今後短期間で影響層へ移行する可能性も懸念される。

### (4) 今後懸念される事項

今後、中東情勢が長期化・悪化した場合、地域経済全体への波及拡大が懸念される。

- ・ 燃料価格のさらなる上昇
- ・ 包装資材・工業部材不足の深刻化
- ・ 生産停止・工事遅延
- ・ 地域消費の低迷
- ・ 観光需要減退
- ・ 資金繰り悪化 など

※特に今回の特徴として、「単なる物価高騰」ではなく、“地域サプライチェーン全体への影響”として認識する必要がある。

## (5) 主な業種ごとの影響傾向

### ①製造業の特徴

#### 《主な意見》

- 包装資材・燃料・電線等の供給不足
- アルミ製品・潤滑油不足
- 海外原材料への依存不安
- 生産工程への影響
- 原材料価格改定の頻発
- 代替品対応による作業負担増
- 人手不足

#### 《分 析》

製造業では、「価格上昇」よりも、『材料が入らず製造そのものが止まる』危機感が非常に強い。特に、石油由来製品の不足（包装資材、電線、潤滑油、石油関連部材）が工程全体へ波及している。また、「代替品対応で手間が2倍」「購入ルート変更」など、防衛的対応が進んでいる一方で、生産効率悪化も起きている。さらに、「10月頃には仕事がなくなる」との声もあり、一部では事業継続リスクが現実化しつつある。

#### 製造業の特徴的課題

- ◇ サプライチェーン依存度が高い 海外原材料への依存 部材1点不足でも生産停止
- ◇ 人手不足との複合化

### ②建設業の特徴

#### 《主な意見》

- 資材価格高騰
- 数量制限
- 納期未定
- 接着剤・塗料不足
- 新規受注停止
- 見積困難
- 工期変更対応
- 特殊資材不足

## 《分 析》

建設業では、『価格が読めない』『材料が揃わない』“工期型産業特有のリスク”が顕著。特に、不安が大きいのは、①契約後の価格変動 ②納期不明 ③資材不足による工事延期 である。また、石油由来資材（床用接着剤、塗料、シンナー、塩ビ類等）の影響が幅広く波及している。

「材料が届かない工事を後回しにし、別作業を前倒し」するなど、現場レベルで工程調整対応が行われている。一方で「新規案件見送り」「仕事を受けられない」という声も出始めており、今後の受注減少懸念も大きい。

### 建設業の特徴的課題

◇ 長期工期による価格変動リスク 特殊資材不足 契約・利益管理困難 工事停止リスク

## ③卸・小売業の特徴

### 《主な意見》

- 手袋・包装資材不足
- 灯油納期長期化
- ガソリン高騰
- 商品欠品
- 買い占め問題
- 輸出停滞
- 船便停滞
- 外国送金停滞

## 《分 析》

卸・小売業では、『物流停滞』と『消費行動変化』の影響が強く表れている。特に、困惑が目立つのは、メディア報道の影響による買い占め や一時的需要集中、品薄不安などがある。また、中古車輸出事業者からは、国際物流・海外経済停滞の影響も報告されている。

### 卸・小売業の特徴的課題

◇ 物流混乱 消費心理悪化 買い占め対応 海外市場依存リスク

## ④サービス業の特徴

### 《主な意見》

- 化粧品・食材・アメニティ値上げ
- 修理部品高騰
- 観光需要減少懸念
- 仕入困難
- 価格改定不安
- 工事見積停止
- 燃料高騰
- 工業用オイル不足
- 人手不足

### 《分 析》

サービス業では、『コスト増』と『需要低迷』の二重影響が特徴。特に宿泊業では、「山梨はマイカー来訪が多い」との声があり、ガソリン高騰による観光需要減少への危機感が強い。また、サービス業でも石油関連製品（クリーニング溶剤、プラ包材、手袋、工業用オイル）への依存が広いことが見える。さらに、「価格改定すると来客減少が不安」との声も多く、“価格転嫁の難しさ”が大きな課題となっている。

また、一部では、施工業者が見積不能、部品不足で修理停止など、他業種の影響がサービス業へ波及している状況も確認された。

### サービス業の特徴的課題

◇ 需要減少リスク    価格転嫁困難    他業種影響の波及    消耗品依存

### 3. まとめ

今回のアンケート調査では、燃料価格の高騰に加え、包装資材や工業部材等の供給不足、納期遅延、原材料価格の上昇などが、幅広い業種に影響を及ぼしている実態が確認された。特に、「すでに業務に支障が出ている」または「近いうちに支障が出る可能性が高い」と回答した事業者が全体の7割を超えており、多くの事業者が事業継続に対する強い危機感を抱いていることがうかがえる。

調査結果からは、単なる物価・燃料価格の上昇にとどまらず、「必要な資材や部材が確保できない」「納期や価格の見通しが立たない」といった供給網全体の不安定化が地域経済へ波及していることが特徴として挙げられる。業種別に見ると、製造業では部材不足による生産停滞や停止への懸念、建設業では資材価格の変動や調達難による工期・契約面でのリスク、サービス業では燃料高騰に伴うコスト増加や消費・観光需要の減少への不安など、それぞれ異なる形で影響が顕在化している。

こうした状況に対し、多くの事業者は在庫確保や代替品の活用、価格改定などの対応を進めているものの、「有効な対応策が見つからない」とする回答も少なくなく、個社単独での対応には限界が見え始めている。特に、価格上昇への対応だけでは解決できない、資材や燃料を安定的に確保できるかという事業継続上の不安が広がっていることが今回の調査から明らかとなった。

今後、中東情勢の長期化や供給不安の拡大により、地域経済への影響がさらに深刻化する可能性がある。このため、継続的な実態把握に努めるとともに、資金繰り支援、調達に関する情報提供やマッチング支援、適正な価格転嫁に向けた支援、迅速な情報共有など、事業継続を下支えする総合的な支援体制の構築が求められる。

■アンケート調査期間 2026年4月21日～5月15日

■アンケート対象 蕪崎市商工会会員 824名 回答数 83名

おことわり

本報告書の公表にあたり、地域名および事業所を特定し得る記述については、情報保護の観点から記載を避け、一部修正を行っておりますのでご了承ください。